

科目名	環境と経済	単位数	2	授業形態	講義	担当 教員	除本 理史（商）
英語表記	The Environment and Economy						

●科目の主題

本講義では、地域環境と地域経済の関係性について、1970年代以来のポスト工業化、そして近年の認知資本主義といわれる構造変化の動向を踏まえつつ論じる。内発的発展、文化的価値、固有価値、真正性（オーセンティシティ）などに関する経済理論・地域論について概観するとともに、具体的な地域を対象として、「地域の価値」にねざした発展の可能性を探りたい。

●授業の到達目標

上記主題に即して、環境と経済の相互関係に関する知見を習得し、環境を保全しながら地域社会が発展していくために何が必要か、考え行動できるようになることをめざす。

●授業内容・授業計画

以下の要領で進める予定である。

1. 導入、基礎理論の概観（1～3回）
2. 原発事故が浮き彫りにした「地域の価値」：福島県飯舘村（4～7回）
3. 公害からの地域再生：熊本県水俣市（8～11回）

4. 文化とまちづくり：石川県金沢市（12回～）

5. まとめ：

●事前・事後学習の内容

事前にテキストを熟読するとともに、講義後は、参考文献を参照し、講義ノートをよく整理すること。

●評価方法

平常点評価とし、小テスト（70%）とレポート（30%）をそれぞれ1回ずつ実施し、その合計点により評価する。詳細は、第1回目の講義において説明する。

●受講生へのコメント

上記「主題」「到達目標」「事前・事後学習」をよく読み、本講義に意欲を持って取り組める学生の履修を望みます。

●教材

テキスト：除本理史・佐無田光『地域から未来をひらく（仮題）』岩波ジュニア新書（2017年刊行予定）

参考文献：授業中に指示する。